

目指す学校

○学ぶ喜びのある学校 ○挨拶が飛び交い歌声が響き合う明るい学校 ○安全安心で生きがいと行きがいのある学校
○新たな教育の実践事実を生み出す創造的な学校 ○保護者に信頼され、地域に応援される特色のある学校

風薫る5月となりました

校庭の春風に揺れるチューリップやパンジーは、形も色合いも個性的です。本校の子供たちも、この花のように一人ひとり顔が違い、性格が異なり、豊かな個性を持っていて、どの子を見ても輝いています。一人ひとりのよさや可能性を大切に、将来、素敵な人生の花を咲かせるように、学校と家庭・地域が一丸となり、たくさんの愛情を子供たちに注いでいきたいと思います。



季節は風薫る5月を迎えました。5月といえば、みなさんも楽しみにしているゴールデンウィークがあります。まず、5月3日は「憲法記念日」。1947年に日本国憲法がはじまった日です。5月5日は「こどもの日」。子供の人格を重んじ、子供の幸福をはかるとともに母に感謝する日とされています。その間にはさまれた5月4日は2007年から「みどりの日」と名づけられています。以前は4月29日が「みどりの日」でしたが、現在は「昭和の日」となっています。どうしてその日が祝日になっているのか、一つひとつの成り立ちを考えてみるのも大切なことかもしれませんね。

さて、先日の学習参観日には、お忙しいところたくさんの保護者の皆様に子供たちの学習の様子をご覧いただきました。PTA総会にもたくさんの方に参加していただくことができ嬉しく思っています。総会時に私のあいさつの中で、お笑い芸人のゴルゴ松本さんの著書「あっ！命の授業」から「夢は叶う」の話を紹介しました。つらい時は、誰でも愚痴をこぼすものです。「チクショー！」「やってられねえよ！」「もうやーめた」。そうやって弱音を吐きます。**「吐(と・はく)」は、くちへんに「十」「一」と書きます。**前向きなプラスのことも弱気なマイナスなこともすべて吐き出していいのです。その後が大事なのです。夢を実現させる人は辛くても少しずつ弱音を吐かなくなっていくます。**「吐」という漢字から少しずつマイナスを消していってください。**つらい気持ちを吐き出すだけ吐き出して、目標に向かって走り出すと、弱音は自然と出なくなっていくのです。**口からマイナスなことをどんどん減らしていくとーが消えて「叶」という字になります。【吐】→【叶】** 夢は叶うのです。

私たち教職員も、子供たちのマイナスな面ではなく、よい所をたくさん見つけ、褒め励まし、「未来に向けて心豊かでたくましい子供」に成長させていきたいと思っています。どうぞ、ご家庭でも、マイナスな言葉よりもプラスな声掛けで、子供たちの成長を見守り応援してあげてください。

最後に、ゴールデンウィーク中、「おうちの中でも楽しめて、親子でできる脳を育てる遊び」として「後出しジャンケン」を紹介します。一般的に10～12歳の運動能力が著しく伸びる時期を「ゴールデンエイジ」と言いますが、2～9歳ぐらいまではその前段階の「プレゴールデンエイジ」と呼ばれ、さまざまな動作や遊びで運動能力の発達を促したいものです。この時期に高めたい能力の1つが、ものごとにすばやく的確な動作で反応する「**反応能力**」です。ママパパが出したサインに反応して手指を動かす後出しジャンケン、シンプルで効率の良い遊びです。本来のジャンケンのルールのように勝敗を決めるのではなく、初めに「ママに勝つ」「パパに負ける」と約束をして、ママパパが出した手に合わせて約束にあったサインを出す事で、脳と手指の反応能力を高めることができます。目から入ってくる情報を脳内で瞬時に処理して手指で表現する……当たり前のようですが、子供たちにとってはとても刺激的で、脳を鍛えるのに有効です。サッカー日本代表の久保建英選手が自身のドリブルの極意を、まず相手を見てから相手の動きの逆をとる「後出しじゃんけん」と言っていました。

どうぞご家族みんなで楽しんでみてください。